



## 富田林市消防本部

# 災害活動用ドローンの導入



富田林市消防本部では、当市消防団長の二〇勝之氏から「災害現場における上空からの被害状況の把握や行方不明者の捜索等に活用できるように」と、9月1日にドローンの寄贈を受けました。

寄贈されたドローンは、最大風圧抵抗が10m/sで災害時においては500mまで高度を上げることが可能であり、約30分間上空にとどまることができます。また、操縦者の送信機に取付けられたディスプレイには上空からの映像がリアルタイムに映し出され、4K動画や静止画を記録することが可能です。

導入により、大規模災害をはじめ災害現場における被害状況の早期把握や車両・隊員が進入できない場所での捜索活動など当市消防本部にとって貴重な戦力になることが期待されます。今後、登録操縦者による訓練を重ね、平成30年4月からの運用開始を目指します。

## 箕面市消防本部

# 地震を想定した災害対策本部訓練を実施!



箕面市では、地震や風水害を想定した災害対策本部訓練を毎年4回実施しています。去る9月28日に、震度6強の地震が発生したという想定で訓練を実施しました。

市内全域で多数の建物が倒壊し、複数の場所で火災も同時発生しているという訓練想定のもと、市役所に災害対策本部が設置されました。訓練形式は机上訓練で行われ、時間の経過とともに様々な災害想定が付与され、次々と発生する災害への対応と同時に、市全体としての災害情報集約や、道路などの応急復旧を担う他の対策部との連携を図ります。

この訓練を通じて、改めて大規模災害には、全ての部局が相互に連携協力し、総力を上げて対応することの重要性を再確認しました。

東南海・南海地震の発生が危惧されることから、今後も災害対応能力の向上に努め、安全安心なまちづくりに取り組んで参ります。